

五高新聞

10月号

10月24日(木曜日)

発行所 五島高校
発行責任 五島高校新聞部
編集 阿野優利 橋詰夕海
橋本妃菜 松村萌花
切江ひなた

五高新聞部よりおしらせ
五島新聞部は現在2年生5名で活動しています。国語が苦手でも大丈夫です。ぜひ、私たちと一緒に新聞を作りませんか？水曜日と木曜日に活動をしています。興味のある方は2年生の新聞部まで！



コラム 「城跡と想い」

など、頑張らなければならぬことが多いと思う。大変な毎日だからこそ、「頭の柔らかさ」と正反対の執着心、しつこく諦めない気持ち」を大事にして日々を過ごしてみてはいかがだろうか。(阿野)

第46回 衛生看護科 戴帽式

踏み出した 夢への第一歩

厳肅な空気の中、戴帽式が行われた。戴帽の儀では、生徒一人一人が校長先生から、ナースキャップとハンカチーフを受け取り、ろうそくに火をともした。声を揃えてナイチンゲール誓詞を暗唱する姿から彼らの決意を伺い知ることができた。

「七。一年早く戴帽した身として、実習での体験を語り、二年生を勇気づけた。戴帽式翌日、早くも衛生看護科の生徒は実習へと向かった。命を扱う現場で彼らはその目に何を見たのだろうか。普通科生徒より一足先に看護師という夢への一歩を踏み出した衛生看護科の生徒。私たちもより一層熱意を持って勉学に励みたい。



誓いの言葉を述べる渡辺花菜さん(2-7)

残暑が過ぎ去ろうとしている中、私たち五高生は「福江みなとまつり」に参加した。昨年は悪天候の為、参加することができなかったが、今年は天候に恵まれ、無事ねぶたをひくことができた。吹奏楽部のはつらつとした演奏を先頭に、運動部の男子生徒がねぶたを引き、商店街を練り歩いた。吹奏楽部の部長の平山歩佳さんは、「音楽に合わせてみんなが声を掛けてくれたのが嬉しかった。」と話した。五高生と街が一体化し、五島のあたたかさを感じることができた一日だった。



ねぶたをひく運動部男子

一一〇周年記念企画

五島高校を卒業された先生へのインタビュー

五島高校は来年、創立一一〇年を迎え、その長い歴史の中で、多くの卒業生を輩出してきた。そこで、今回は五島高校回生であり、現在五島高校に勤務されている、辻忠先生にお話を聞いた。

新聞部 五島高校は来年、創立一一〇年を迎え、その長い歴史の中で、多くの卒業生を輩出してきた。そこで、今回は五島高校回生であり、現在五島高校に勤務されている、辻忠先生にお話を聞いた。

りクラスが多くて、2日間ありました。本気でバスケットボールをしていて……、相手の歯を折りました(笑)

辻先生 当時、祖母の家に下宿をしていたので、家事が大変でした。ほとんど自分でしていました。

た。後は、勉強が嫌いだっただけで、勉強です。数学だけは好きでしたけど。(笑)

新聞部 最後に何か一言お願ひします。
辻先生 私が在学していたときは一〇〇年だったので、一〇〇年という節目の年に母校で勤務できてありがたいです。せっかくなので、同窓生としてお祝いをもりあげていきたいです。皆も盛り上がっていきましょう！



2年5組担任 辻忠先生(数学科)

いかがでしたか？
次号からも、五島高校出身の先生にお話を伺っていきます。
私たちも知らない五島の秘密が語られるかも……お楽しみに！



ろうそくを手にナイチンゲール誓詞を暗唱する2-7の生徒

新聞部 五島高校在学中の、楽しかった思い出は何ですか。
辻先生 競技大会です。今よ

か。
辻先生 当時、祖母の家に下宿していたので、家事が大変でした。ほとんど自分でしていました。

あつて欲しいですね。

